

令和4年度実施

～ 第2回 ～

**子育て支援と保育園の民営化に
関するアンケート調査結果報告書**

令和5年3月

大泉町

目 次

調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法及び回答率	1
3 その他	1

アンケート集計結果

Q1 あなた自身のことについて	2
Q2 保育園や幼稚園等について	3
Q3 保育園や幼稚園等を選ぶポイントについて	4
Q4 子育て支援に関する事業について	5
Q5 今後の保育サービスについて	6
Q6 公立保育園の民営化と財源の分配について	8

まとめ	11
-----	----

調査の概要

1 調査の目的

子育て世帯へのアンケート調査を実施し、保護者の意向を把握することで、今後の本町の子育て支援の施策や保育園の民営化についての基礎資料とします。

2 調査方法及び回答率

調査方法や回答率などは以下のとおりです。

(1)対象児童	①非在園児【0歳～6歳（2022年12月31日生～2016年4月2日生）で保育園等に在籍していない児童】 ②15～18歳（2007年4月1日生～2004年4月2日生）
(2)対象者	対象児童の保護者
(3)配付数	917件 【内訳】 ①：327件 ②：590件
(4)実施期間	令和5年2月21日（火）～3月6日（月） 【14日間】
(5)配付方法	調査票を郵送にて配付
(6)回収方法	郵送またはインターネットにより回答
(7)有効回答数	230件（郵送：129件、インターネット：101件） 【内訳】 ①：72件（郵送：37件、インターネット：35件） ②：158件（郵送：92件、インターネット：66件）
(8)有効回答率	25.1% 【内訳】 ①：22.0% ②：26.8%

3 その他

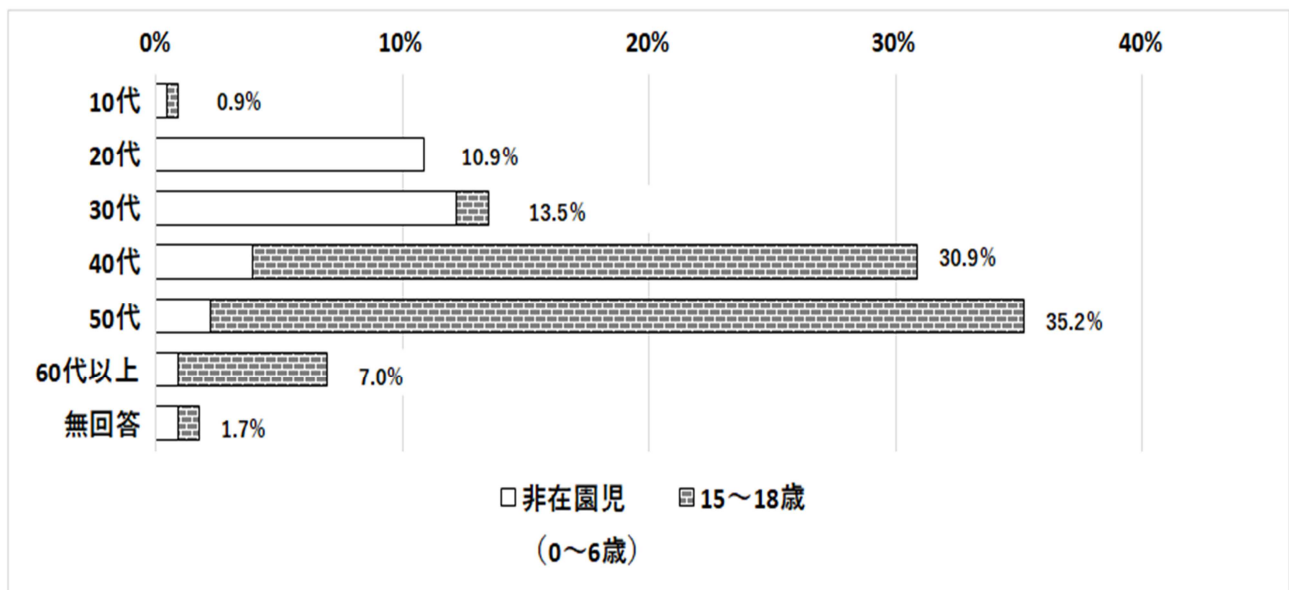
- (1) 構成比はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しました。このため、合計が100%に満たない場合や、100%を超える場合があります。
- (2) 複数回答となる設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を選択することができます。回答の各項目の構成比は、回答者数を基に算出しているため、合計が100%を超える場合があります。

アンケート集計結果

Q1 あなた自身のことについて

■対象児童ごとに分けて集計をしています。

項目	非在園児 (0～6歳)		15～18歳		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10代	1	0.4%	1	0.4%	2	0.9%
20代	25	10.9%	0	0.0%	25	10.9%
30代	28	12.2%	3	1.3%	31	13.5%
40代	9	3.9%	62	27.0%	71	30.9%
50代	5	2.2%	76	33.0%	81	35.2%
60代以上	2	0.9%	14	6.1%	16	7.0%
無回答	2	0.9%	2	0.9%	4	1.7%
合計	72	31.3%	158	68.7%	230	100.0%



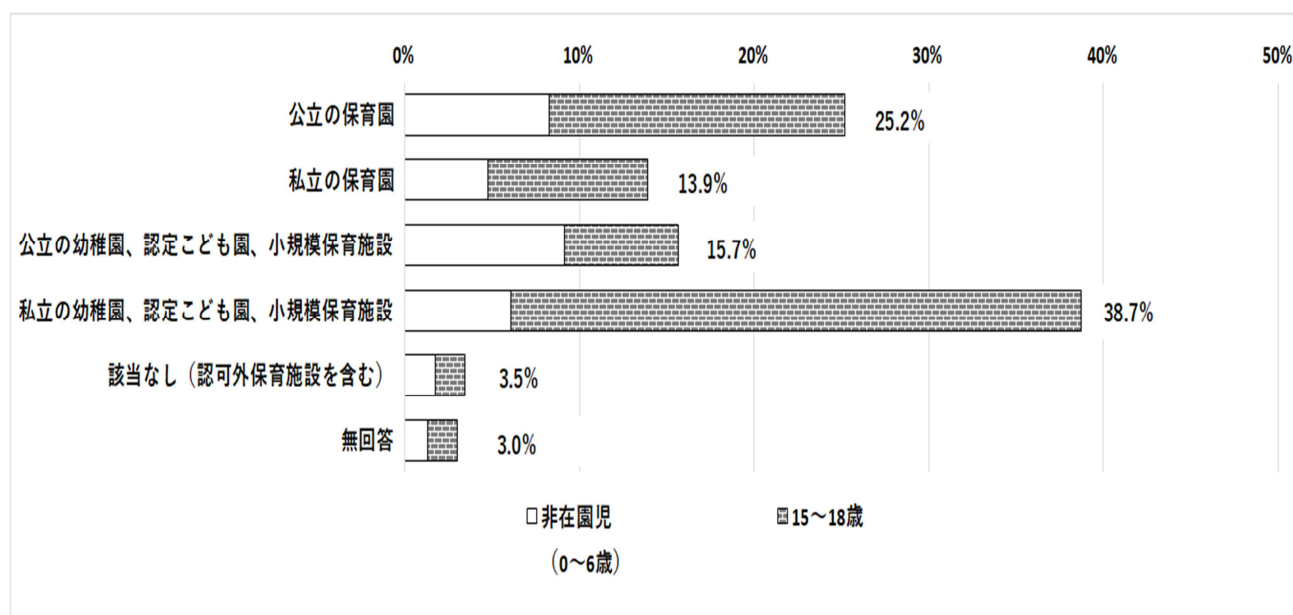
『年代』については、全体では「50代」が35.2%と最も多く、次いで「40代」が30.9%となっています。

児童の年齢が低い非在園児では30代が最も多く、児童の年齢が高い15～18歳では50代が最も多くなっています。

Q2 お子さまを通わせたい（通わせていた）保育園や幼稚園等は、どちらですか？

■対象児童ごとに分けて集計をしています。

項目	非在園児 (0~6歳)		15~18歳		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
公立の保育園	19	8.3%	39	17.0%	58	25.2%
私立の保育園	11	4.8%	21	9.1%	32	13.9%
公立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設	21	9.1%	15	6.5%	36	15.7%
私立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設	14	6.1%	75	32.6%	89	38.7%
該当なし（認可外保育施設を含む）	4	1.7%	4	1.7%	8	3.5%
無回答	3	1.3%	4	1.7%	7	3.0%
合計	72	31.3%	158	68.7%	230	100.0%



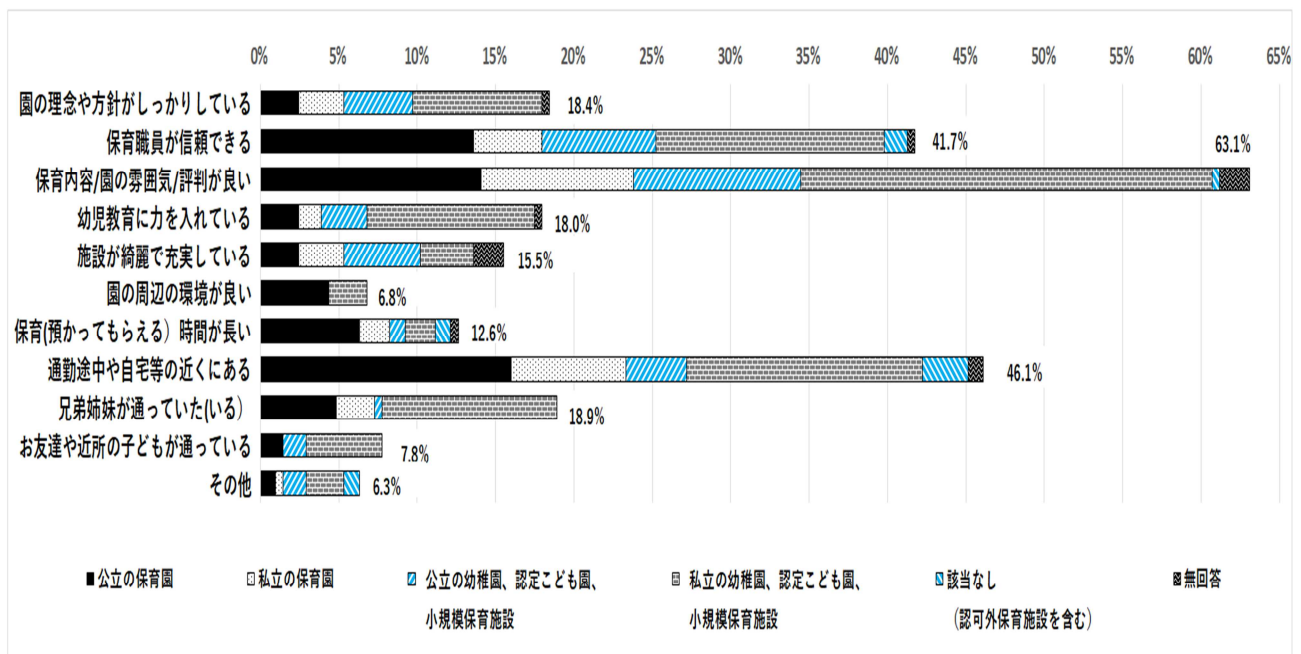
『通わせたい（通わせていた）保育園や幼稚園等』については、全体では「私立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設」が38.7%と最も高く、次いで「公立の保育園」25.2%、「公立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設」15.7%の順になっています。

Q3 保育園や幼稚園等を選ぶ際に、重要視することは何ですか？（3つまで）

■Q2の区分ごとに分けて集計をしています。

■回答者数：206人

項目	公立の保育園		私立の保育園		公立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設		私立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設		該当なし (認可外保育施設を含む)		無回答		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
園の理念や方針がしっかりしている	5	2.4%	6	2.9%	9	4.4%	17	8.3%	0	0.0%	1	0.5%	38	18.4%
保育職員が信頼できる	28	13.6%	9	4.4%	15	7.3%	30	14.6%	3	1.5%	1	0.5%	86	41.7%
保育内容/園の雰囲気/評判が良い	29	14.1%	20	9.7%	22	10.7%	54	26.2%	1	0.5%	4	1.9%	130	63.1%
幼児教育に力を入れている	5	2.4%	3	1.5%	6	2.9%	22	10.7%	0	0.0%	1	0.5%	37	18.0%
施設が綺麗で充実している	5	2.4%	6	2.9%	10	4.9%	7	3.4%	0	0.0%	4	1.9%	32	15.5%
園の周辺環境が良い	9	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	14	6.8%
保育(預かってもらえる)時間が長い	13	6.3%	4	1.9%	2	1.0%	4	1.9%	2	1.0%	1	0.5%	26	12.6%
通勤途中や自宅等の近くにある	33	16.0%	15	7.3%	8	3.9%	31	15.0%	6	2.9%	2	1.0%	95	46.1%
兄弟姉妹が通っていた(いる)	10	4.9%	5	2.4%	1	0.5%	23	11.2%	0	0.0%	0	0.0%	39	18.9%
お友達や近所の子どもが通っている	3	1.5%	0	0.0%	3	1.5%	10	4.9%	0	0.0%	0	0.0%	16	7.8%
その他	2	1.0%	1	0.5%	3	1.5%	5	2.4%	2	1.0%	0	0.0%	13	6.3%
合計	142		69		79		208		14		14		526	



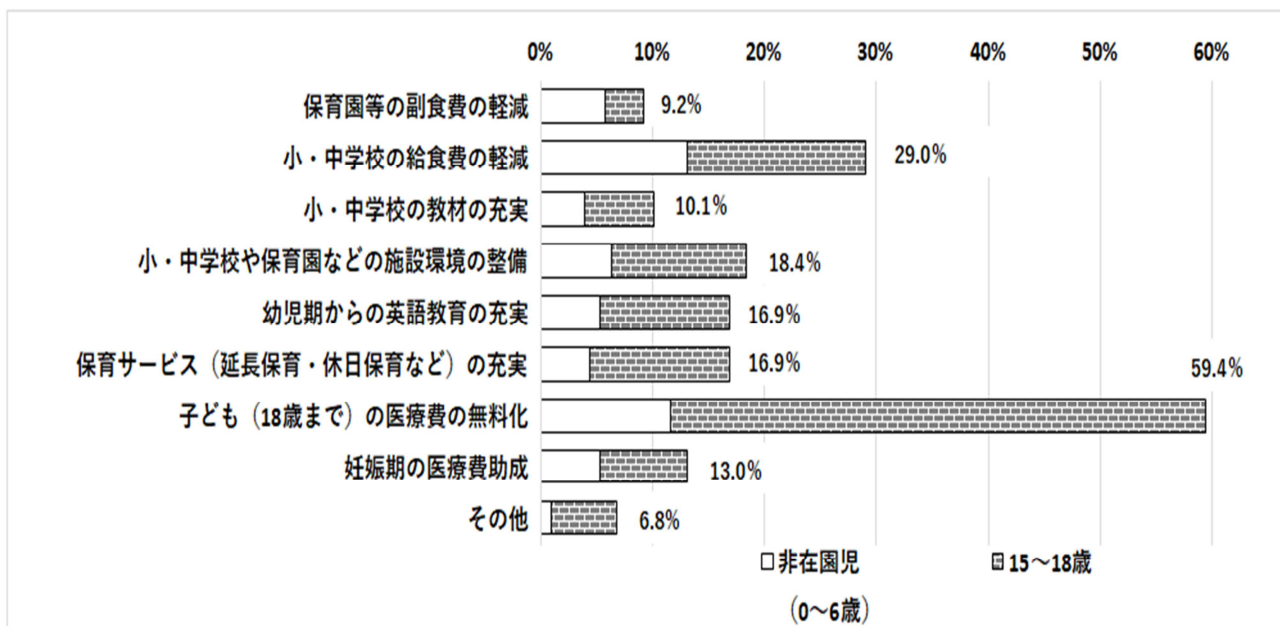
『重要視すること』については、全体では「保育内容/園の雰囲気/評判が良い」が63.1%と最も高く、次いで「通勤途中や自宅等の近くにある」46.1%、「保育職員が信頼できる」41.7%の順となっております。

Q4 あなたが、お子さまを育てていく中で、「あったら助かる」、「こんな支援策が必要」など、大泉町が取り組むべき「子育て支援に関する事業」を教えてください。（2つまで）

■対象児童ごとに分けて集計をしています。

■回答者数：207人

項目	非在園児 (0~6歳)		15~18歳		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
保育園等の副食費の軽減	12	5.8%	7	3.4%	19	9.2%
小・中学校の給食費の軽減	27	13.0%	33	15.9%	60	29.0%
小・中学校の教材の充実	8	3.9%	13	6.3%	21	10.1%
小・中学校や保育園などの施設環境の整備	13	6.3%	25	12.1%	38	18.4%
幼児期からの英語教育の充実	11	5.3%	24	11.6%	35	16.9%
保育サービス（延長保育・休日保育など）の充実	9	4.3%	26	12.6%	35	16.9%
子ども（18歳まで）の医療費の無料化	24	11.6%	99	47.8%	123	59.4%
妊娠期の医療費助成	11	5.3%	16	7.7%	27	13.0%
その他	2	1.0%	12	5.8%	14	6.8%
合計	117		255		372	



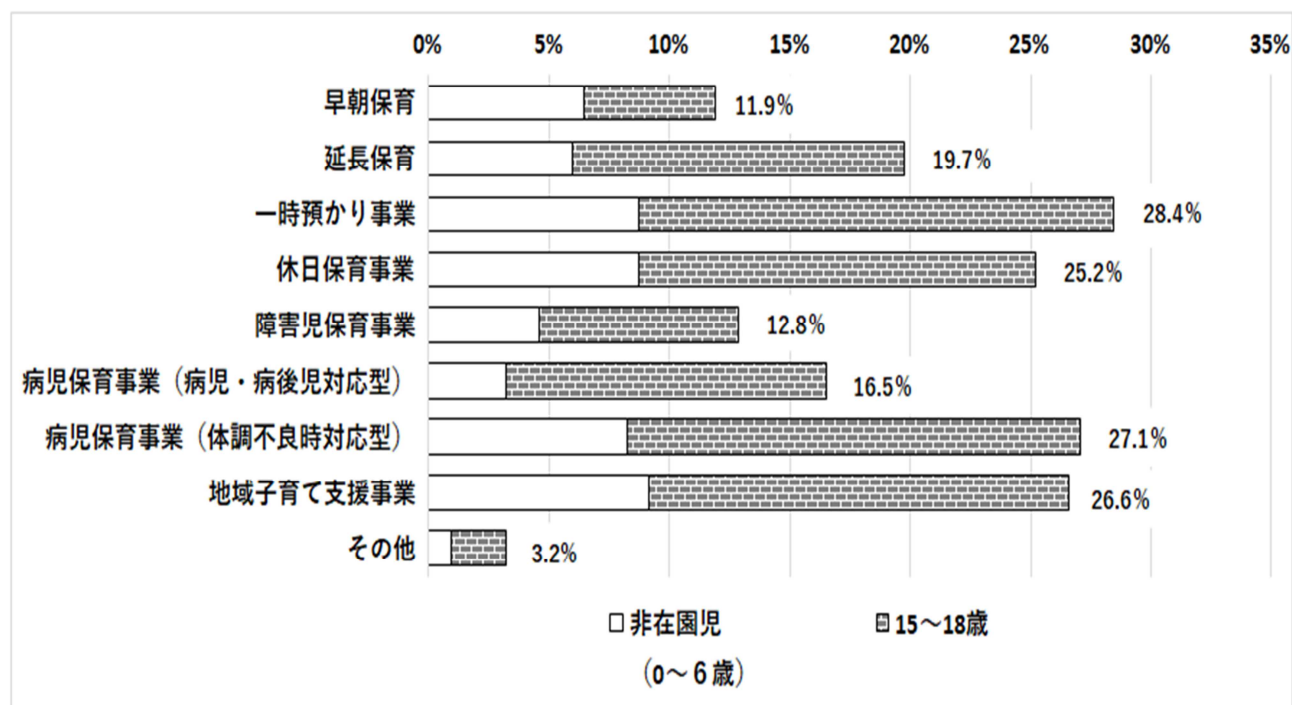
『子育て支援に関する事業』については、「子ども（18歳まで）の医療費の無料化」が59.4%と最も高く、次いで「小・中学校の給食費の軽減」29.0%、「小・中学校や保育園などの施設環境の整備」18.4%の順となっています。

Q5 今後の保育サービスに対する意向(力を入れて欲しいサービスの内容)を教えてください。(2つまで)

■対象児童ごとに分けて集計をしています。

■回答者数：218人

項目	非在園児 (0～6歳)		15～18歳		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
早朝保育	14	6.4%	12	5.5%	26	11.9%
延長保育	13	6.0%	30	13.8%	43	19.7%
一時預かり事業	19	8.7%	43	19.7%	62	28.4%
休日保育事業	19	8.7%	36	16.5%	55	25.2%
障害児保育事業	10	4.6%	18	8.3%	28	12.8%
病児保育事業(病児・病後児対応型)	7	3.2%	29	13.3%	36	16.5%
病児保育事業(体調不良時対応型)	18	8.3%	41	18.8%	59	27.1%
地域子育て支援事業	20	9.2%	38	17.4%	58	26.6%
その他	2	0.9%	5	2.3%	7	3.2%
合計	122		252		374	

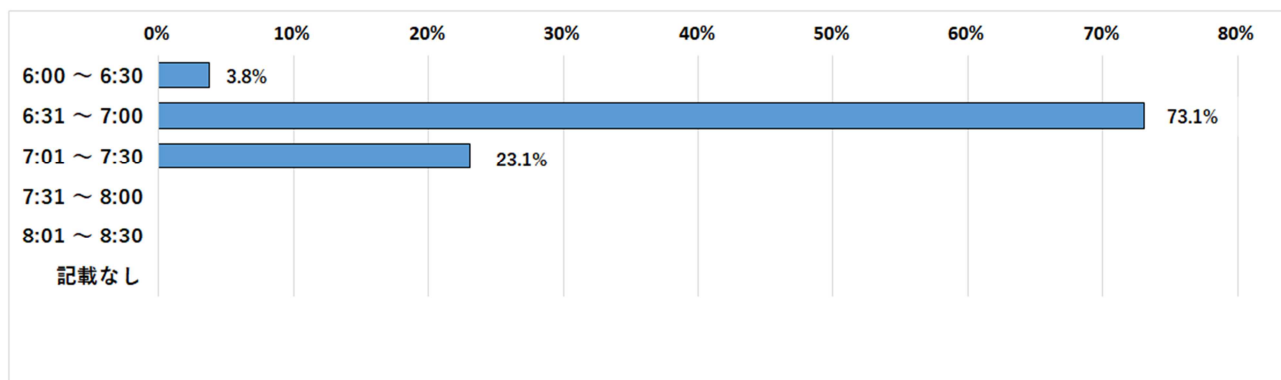


『今後の保育サービス』については、「一時預かり事業」が28.4%と最も高く、「病児保育事業(体調不良時対応型)」27.1%、「地域子育て支援事業」26.6%の順となっています。

【Q5 参考】

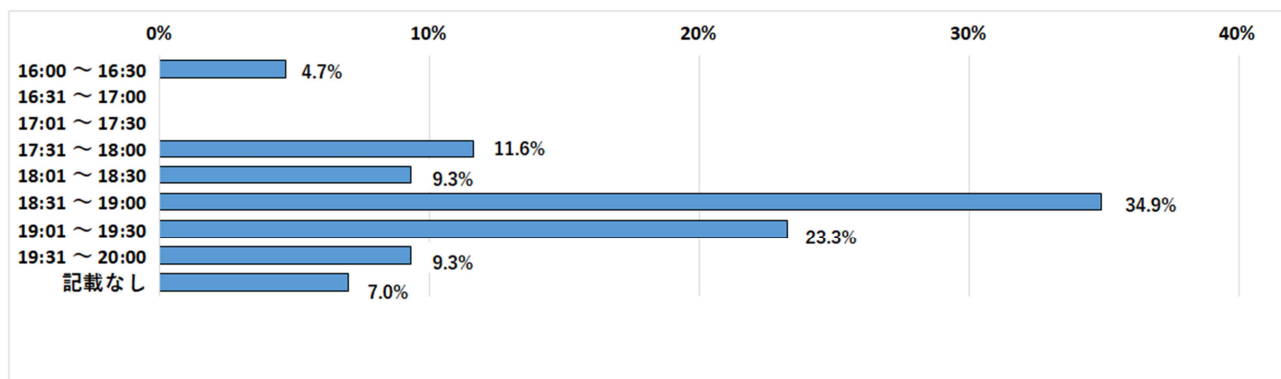
■早朝保育の希望時間について集計をしています。

開始時間	回答数	構成比
6:00 ～ 6:30	1	3.8%
6:31 ～ 7:00	19	73.1%
7:01 ～ 7:30	6	23.1%
7:31 ～ 8:00	0	0.0%
8:01 ～ 8:30	0	0.0%
記載なし	0	0.0%
合計	26	100.0%



■延長保育の希望時間について集計をしています。

終了時間	回答数	構成比
16:00 ～ 16:30	2	4.7%
16:31 ～ 17:00	0	0.0%
17:01 ～ 17:30	0	0.0%
17:31 ～ 18:00	5	11.6%
18:01 ～ 18:30	4	9.3%
18:31 ～ 19:00	15	34.9%
19:01 ～ 19:30	10	23.3%
19:31 ～ 20:00	4	9.3%
記載なし	3	7.0%
合計	43	100.0%



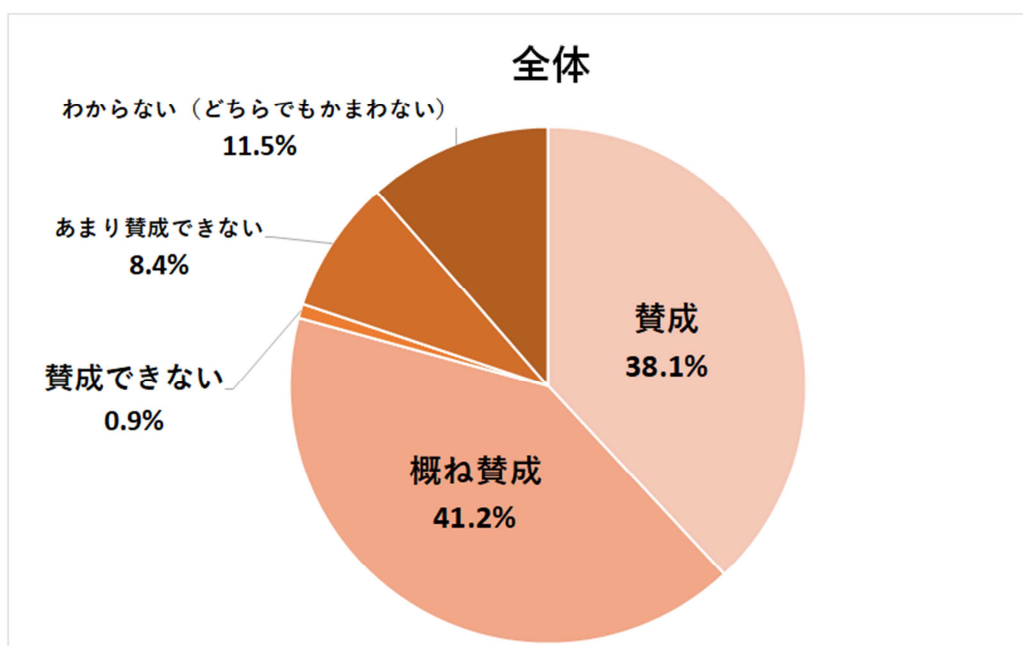
Q6 最後の質問です。Q5 で回答をいただいた「子育て支援の事業」を実施するための「財源」は、公立保育園3園のうち、2園を民営化し生み出された財源（約9,100万円：1年間・2園の合計額）を充てることを検討しています。公立保育園の民営化と財源の分配による子育て支援事業の充実について、あなたの考え方に一番近いものを選んでください。

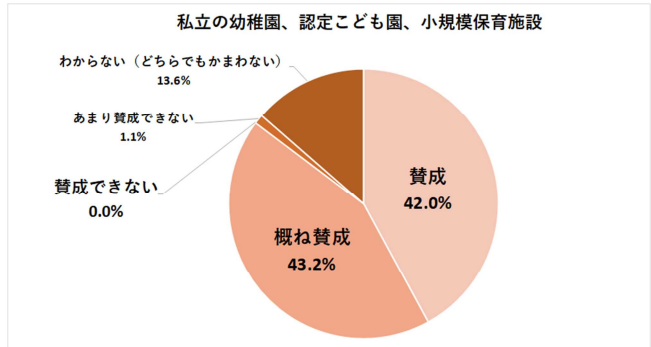
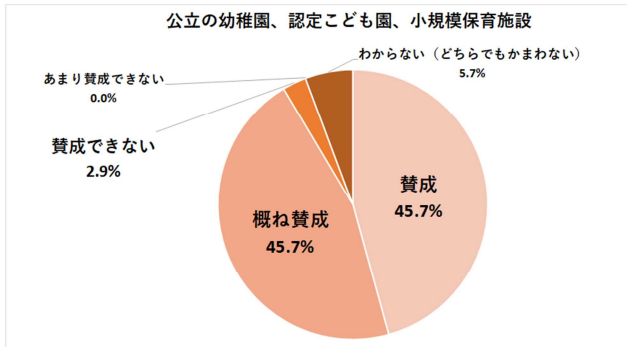
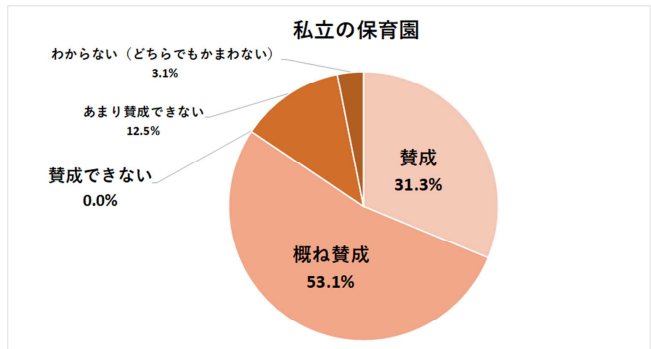
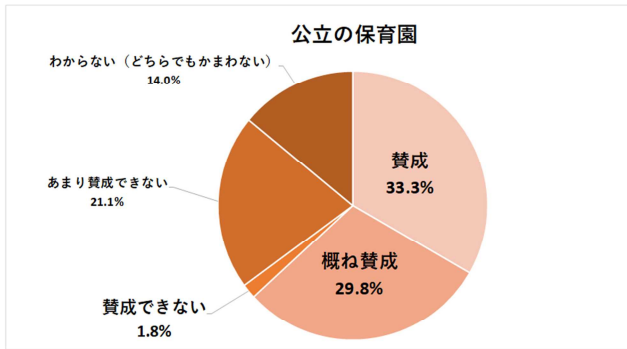
■Q2の区分ごとに分けて集計をしています。

■構成比については、Q2の区分ごとに100%としています。

■回答者数：226人

項目	公立の保育園		私立の保育園		公立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設		私立の幼稚園、認定こども園、小規模保育施設		該当なし (認可外保育施設を含む)		無回答		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
賛成	19	33.3%	10	31.3%	16	45.7%	37	42.0%	2	25.0%	2	33.3%	86	38.1%
概ね賛成	17	29.8%	17	53.1%	16	45.7%	38	43.2%	5	62.5%	0	0.0%	93	41.2%
賛成できない	1	1.8%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
あまり賛成できない	12	21.1%	4	12.5%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	2	33.3%	19	8.4%
わからない(どちらでもかまわない)	8	14.0%	1	3.1%	2	5.7%	12	13.6%	1	12.5%	2	33.3%	26	11.5%
合計	57	100.0%	32	100.0%	35	100.0%	88	100.0%	8	100.0%	6	100.0%	226	100.0%





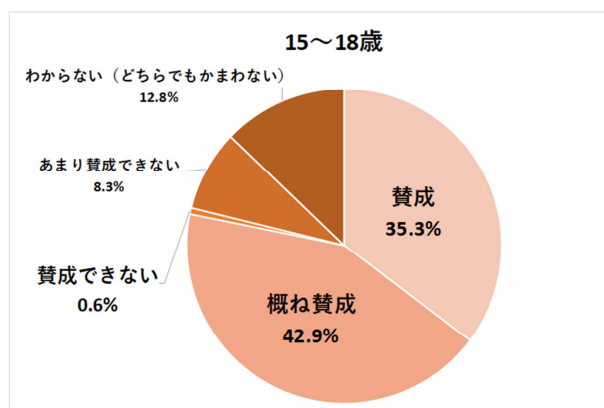
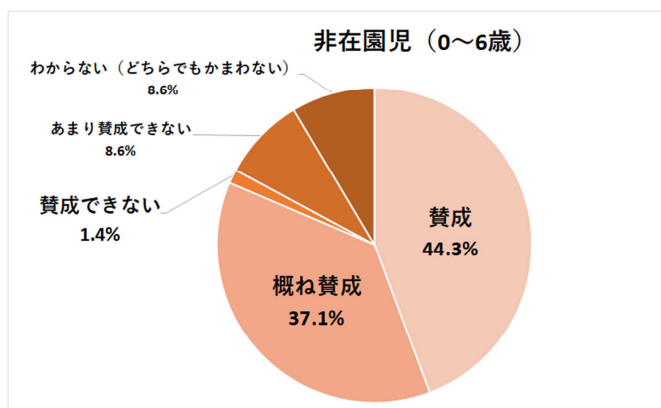
『民営化と財源の分配による子育て支援事業の充実』については、全体では「賛成」が38.1%、「概ね賛成」が41.2%、「賛成できない」が0.9%、「あまり賛成できない」が8.4%となっています。

【Q6 参考】

■対象児童ごとに分けて集計をしています。

■回答者数：226人

項目	非在園児 (0～6歳)		15～18歳		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
賛成	31	44.3%	55	35.3%	86	38.1%
概ね賛成	26	37.1%	67	42.9%	93	41.2%
賛成できない	1	1.4%	1	0.6%	2	0.9%
あまり賛成できない	6	8.6%	13	8.3%	19	8.4%
わからない(どちらでもかまわない)	6	8.6%	20	12.8%	26	11.5%
合計	70	100.0%	156	100.0%	226	100.0%



まとめ

アンケート調査の結果から、町で取り組んでほしい子育て支援に対する保護者の意向は、「子ども（18歳まで）の医療費の無料化」が59.4%と非常に多く、次に「小・中学校の給食費の軽減」、「小・中学校や保育園などの施設環境の整備」があげられています。

このことから、子どもの医療費の無料化については令和5年度から実施していきますが、今後、給食費の軽減などの保護者の経済的負担の軽減や施設環境の整備が進められるよう子育て支援に取り組んでいく必要があります。

保育サービスに対する保護者の意向では、一時預かり事業、病児保育事業（体調不良時対応型）、地域子育て支援事業の要望が多くなっています。

全体的に見ますと子育てと就労の両立ができ、安心して子どもを預けられる環境整備への希望がうかがえます。また、親子の交流や子育ての不安解消のための支援事業の希望も多くあります。

このことから、保護者が安心して就労できる特別保育サービスについて、公立保育園での環境整備や私立保育園での実施に向けて調整を図っていく必要があります。また、児童相談所などの関係機関との連携を密にし、育児相談の窓口の充実や子育てのための情報の発信をさらに充実させていく必要があります。